

フブ・服部の中国通信（インド出張編）

体が丈夫というのも困りものな件

新年明けましておめでとうございます。今年もかわらずお付き合いの程、よろしくお願い致します。
 わたくし服部は先月の宣言どおり、インドに行ってきました。
 赤道近くとは言え、さすがにインドも季節は冬。最高気温も30度前後で最も暑い40度超えの時期のことを思えばすごしやすい気候です。
 心配していたインドの入国審査も比較的スムーズにパス。また、その晩連れて行かれたホテルもとても快適、翌朝の朝食も



あれ？なにやら上品です。(別の島には日本でも出せそうな洋食バイキングが並んでいました)



↑その日の昼食もインド式、ご飯にカレーをかけた素手でかき混ぜるスタイルに抵抗を感じる方はいらっしゃるかもしれませんが、少々辛い程度で危険は一切ありませんでした。

ははーん、札幌のS 簾を連れているから控え目のコースにしたんだな？

と、しばらくは無事に帰れそうだという安堵感から膝の震え、胃の痛みも収まっていたのですが、せっかく来た私を無事に帰すほどインドは、佐藤は甘くありませんでした。

訪印して数日後の夕方、突如それはやってきました。少々距離の離れた丁場へ赴いた後、遅めの昼食を取っていたその時突如目の前に出てきた奇異な物体…



↑残念ながらシトウではありません。グリーンチリという唐辛子の中でもかなり上位の攻撃力を誇る激辛植物です。

あ…

この時察しました。最初の数日など慣らし期間に過ぎなかったことを。今回全日程同行してくれた佐藤が最も信頼するインド人、ハリー氏がニコニコしながら“**One bite(ひとかじりだけいってみようか！)**”と言っている所からも、事前に打ち合わせ済みだった模様…

とはいえ佐藤だけならともかく、ハリー氏に言われては断るわけにもいきません。いざ実食。

……痛っ！

言葉になりません。このグリーンチリという物体、辛いではありません、痛いです。その痛みへのたうち回り、涙を流し、痛みが和らげば！と思いコーラに口をつけるも炭酸が悪いのか痛みが余計に増します。結局口の中の痛みが取れるまでに約 10 分を要しました。その後も食道、胃の辺りが熱くなり、ああ～、グリーンチリ、今この辺を通過しているな、というのが分かるほどです。

その後も佐藤、ハリーさんコンビの悪ムシ歓待は続きます。

私の体が普通の作りで、そのグリーンチリを食べた時点で体調を崩していたら違ったかもしれませんが、もともと胃腸が丈夫なのに加え、辛味に対しても中国である程度の耐性が出来上がっている私は、愚かにも翌朝ケロッとホテルのロビーに降りてしまいました。当然格好の「オモチャ」というわけです。



グリーンチリの生食(左上)に始まり、グリーンチリではありませんが赤唐辛子をこれでもかとい入れたかのような色のマサラフィッシュ、極めつけはチリエキスを搾り出した佐藤オリジナルカクテル、チリビール！(注：インド人もこんな飲み方はしません。断じて美味しいものではないので良い子も良い大人も真似をしないようにしましょう・・・汗)

なお、このグリーンチリ、夏場日本のスーパー等でも出回る事があるようです。辛味もしっかりとあるそうなので、見かけられたら舌先の痛みや食道に入っても主張する辛さ、話の種にでもお試しくさませ。**注意：“One bite(ひとかじり)”**を守りましょう、多量の摂取は危険です、本当)。

さて、このままだと遊びに行ったのかと偉い人に怒られそうなのでお仕事の話をし。十数丁場、二工場を回りましたが、今期の弊社販売戦略とも密接に関わってくるこの話題、どこまで出して良いかが難しいので、今回コアな部分については避けさせていただきます。申し訳ありません。弊社としてネタを仕込んでいますよ、という事でお許しを・・・

と、言う事であるインドの山奥のお話



この丁場、弊社でも何度か仕入れ実績があり、ご好評をいただいている黒御影で、今回も「良い石出てるから検品に来てよ！」との情報を受けて訪問したのですが・・・何もありません、出荷できそうな原石も、重機さえも・・・???

丁場オーナーの説明では重機のトラブルで予定していた採掘ができなくなった、すぐ掘れるようになるからまた報告するとの事。

・・・噂には聞いていましたがさすがインドです・・・仕入れしている佐藤も大変ですね・・・

ただ、石は出ませんでしたがかわりに別のものが出たようです。

丁場を見て歩こうと歩き出した直後

あ、離れないでね、パンサーが出るよ！

……はい？

私の英語聞き取り能力が不足している点、あまりと言えばあまりの内容に聞き返してしまいました。



↑た、確かに家猫の数倍はあろうかという猫科らしき足跡。周囲からは何かのうなり声……。しかもこの足跡からするとかなり新しい、この丁場あたりもパンサーの縄張りだという可能性は十分にあります。

怖い、怖すぎます。インドの山恐るべし！

結果、その堀口からは早々に退散、他の山に向かいましたとさ。

さて、今回はインドの洗礼を主にお話させていただきましたがいかがでしたでしょうか？

インドはとても良いところなのでぜひ一度おいでください(棒読み)

次回からは中国編に戻りお届けしたいと思いますが、こういった番外編もスペース埋め違う角度からの情報として機会を見て書ければ、と考えております。

それでは、来月は旧正月直前です。前後の展望等も含めお話できれば、と考えております。(もしかしたら直前の阿鼻叫喚実況中継も)ご期待？ください。

それでは本年もお付き合いありがとうございました。

来年も話しの種になり、クスッと笑えるようなメルマガを目指してまいりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。良いお年を！